

建築構造力学演習 B Exercises in Structural Mechanics B

教員名	多田元英, 瀧野敦夫							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 7 1 1 室 電話: 06-6879-7355							
E-MAIL アドレス	atsuo@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース (3 年次)							
単位	1	セメスター					5	
受講条件	構造力学基礎および建築構造力学 A を修得し、建築構造力学 B を受講していることが望ましい。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築構造における不静定骨組の解析理論および解析手法とマトリクス変位法について、演習を通して理解を深めることを目指す。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○			◎				
授業計画・概要	テーマ	概要					学習・教育目標	
	たわみ角法および固定モーメント法 (7 回)	小規模な構造物や簡単な架構の解析に常用されているたわみ角法、それを略算化した固定モーメント法に基づく解法の基本的な知識を身に付ける。(高度 7 回)					A D	
	不静定骨組の解法 (5 回)	種々の不静定骨組を応力法や変位法に基づき解析し、不静定骨組の解法に関する応用力を高める。(高度 5 回)					A D	
	マトリクス変位法 (3 回)	コンピュータ利用を前提としたマトリクス変位法の理論およびコンピュータを用いた解析手法について基本的な知識を身に付ける。(高度 3 回)					A D	
教科書	中村恒善他著「建築構造力学図説・演習 II」、丸善							
参考図書・文献等								
成績評価方法・評価基準	講義中に行う小レポート (30%) とレポート課題 (70%) で評価する。ただし、出席回数が全回数の 6 割に満たない場合は、評価対象外とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								